

英国国債ファンド ーギルト10ー (為替ヘッジなし) 【運用報告書(全体版)】

(2022年9月3日から2023年3月2日まで)

第 17 期
決算日 2023年3月2日

受益者の皆さまへ

平素は格別のお引立てに預かり、厚くお礼申し上げます。

当ファンドはマザーファンドへの投資を通じて、主として英国国債に投資することで、信託財産の成長を目指して運用を行います。当期についても、運用方針に沿った運用を行いました。今後ともご愛顧のほどお願い申し上げます。

 三井住友DSアセットマネジメント
〒105-6426 東京都港区虎ノ門1-17-1
<https://www.smd-am.co.jp>

- 口座残高など、お取引状況についてのお問い合わせ
お取引のある販売会社へお問い合わせください。
- 当運用報告書についてのお問い合わせ

コールセンター 0120-88-2976
受付時間：午前9時～午後5時(土、日、祝・休日を除く)

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券
信託期間	2014年9月4日から2024年9月2日まで
運用方針	マザーファンドへの投資を通じて、主として英国国債に投資することで、信託財産の成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	当ファンドは以下のマザーファンドを主要投資対象とします。 英国国債ギルト10・マザーファンド 英国の国債
当ファンドの運用方法	■英国国債ギルト10・マザーファンドへの投資を通じて、主として、英国国債に投資します。 ■英国国債への投資に当たっては、残存期間が最長10年程度までの英国国債に投資し、原則として、各残存期間毎の投資金額がほぼ同額程度となるような運用を目指します。 ■英国国債の実質組入比率は、原則として高位を保ちます。 ■原則として、対円で為替ヘッジを行わないため、為替変動による影響を受けます。
組入制限	当ファンド ■株式への実質投資は行いません。 ■外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。 英国国債ギルト10・マザーファンド ■株式への投資は行いません。 ■外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	■年2回(原則として毎年3月および9月の2日。休業日の場合は翌営業日)決算を行い、分配を行います。 ■分配対象額は、経費控除後の利子、配当等収益と売買益(評価損益を含みません。)等の範囲内とします。 ■分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。 ※委託会社の判断により分配を行わない場合もあるため、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

英国国債ファンドーギルト10 - (為替ヘッジなし)

原則として、各表の数量および金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しています。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

■ 最近5期の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	標準価額		(参考指数) 英国5年国債 利回り	公社債比率	純資産額
		税金配分	込金騰落率			
	円	円	%		%	百万円
13期 (2021年3月2日)	8,791	60	2.6	0.3530	97.4	87
14期 (2021年9月2日)	8,914	60	2.1	0.3660	97.5	89
15期 (2022年3月2日)	8,759	60	△1.1	0.7910	97.9	87
16期 (2022年9月2日)	8,480	60	△2.5	2.8200	98.4	84
17期 (2023年3月2日)	8,301	60	△1.4	3.6710	97.8	83

※基準価額の騰落率は分配金込み。

※当ファンドは親投資信託を組み入れますので、比率は実質比率を記載しています。

※外国の指数は基準価額への反映を考慮した日付の値を使用しています。

■ 当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	標準価額		(参考指数) 英国5年国債 利回り	公社債比率
		騰落率	騰落率		
(期首) 2022年9月2日	円 8,480	% -		2.8200	% 98.4
9月末	7,942	△6.3		4.4340	97.5
10月末	8,811	3.9		3.5820	97.6
11月末	8,653	2.0		3.2240	97.5
12月末	8,163	△3.7		3.6310	97.3
2023年1月末	8,387	△1.1		3.2200	97.2
2月末	8,395	△1.0		3.6910	97.1
(期末) 2023年3月2日	円 8,361	% △1.4		3.6710	% 97.8

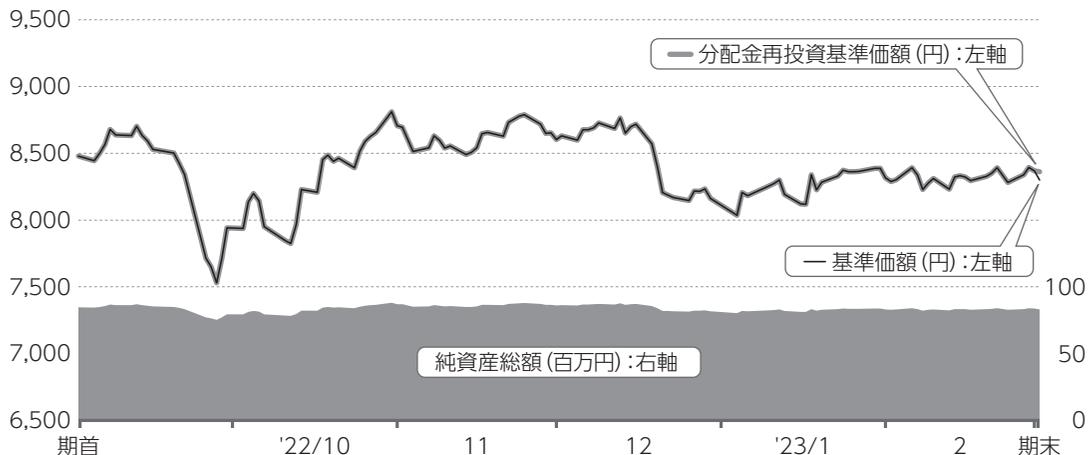
※期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

※当ファンドは親投資信託を組み入れますので、比率は実質比率を記載しています。

1 運用経過

基準価額等の推移について (2022年9月3日から2023年3月2日まで)

基準価額等の推移



※分配金再投資基準価額は、期首の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

期首	8,480円
期末	8,301円 (既払分配金60円(税引前))
騰落率	-1.4% (分配金再投資ベース)

分配金再投資基準価額について

分配金再投資基準価額は分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示します。

※分配金を再投資するかどうかについては、受益者の皆さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額などによって課税条件も異なります。したがって、受益者の皆さまの損益の状況を示すものではありません。(以下、同じ)

※当ファンドは英国5年国債利回りを参考指数としているため、基準価額等の推移のグラフに併記しておりません。

基準価額の主な変動要因 (2022年9月3日から2023年3月2日まで)

当ファンドは、英国国債ギルト10・マザーファンドへの投資を通じて、主として、残存期間が最長10年程度までの英国国債に投資し、原則として、各残存期間毎の投資金額がほぼ同額程度となるような運用を行いました。

上昇要因

- 実質的に保有する債券からインカム収入を得たこと
- 英ポンド円相場が上昇したこと

下落要因

- BOE (イングランド銀行：中央銀行) によるタカ派的な姿勢や利上げサイクルの進展などを背景に金利が上昇したこと

投資環境について (2022年9月3日から2023年3月2日まで)

運用期間において英国の金利は上昇しました。また、英ポンドは対円で上昇しました。

英国債券市場

英国では、長期金利(10年国債利回り)は上昇しました。BOEによる利上げの進展やトラス政権による財政拡大路線への懸念を背景に金利は2022年9月に大きく上昇しました。その後はスナク新政権の発足による財政懸念の後退などから、金利は上昇幅を縮小し、もみ合う展開となりました。しかし、運用期間末にかけてはBOEのタカ派的なスタンスを背景に上昇する展開となりました。

為替市場

英ポンド円相場は上昇しました。運用期間の初め、英ポンドは財政懸念などを背景に下落しましたが、財政懸念が後退したことで上昇に転じました。その後はBOEのタカ派姿勢の後退などから下落基調となりましたが、運用期間末にかけては粘着的なインフレ指標や金利上昇を背景に上昇するなど、英ポンドは上下しつつも上昇する展開となりました。

ポートフォリオについて (2022年9月3日から2023年3月2日まで)

当ファンド

主要投資対象である英国国債ギルト10・マザーファンドを運用期間を通じて高位に組み入れました。

英国国債ギルト10・マザーファンド

残存期間が最長10年程度までの英国国債に投資するとともに、各残存期間1年毎の投資金額がほぼ同額程度となるように維持しました。

ベンチマークとの差異について (2022年9月3日から2023年3月2日まで)

当ファンドは運用の指標となるベンチマークを設けておりません。英国5年国債利回りを参考指数としているため、当ファンドの基準価額の騰落率との対比をしておりません。

分配金について (2022年9月3日から2023年3月2日まで)

(単位：円、1万口当たり、税引前)

項目	第17期
当期分配金	60
(対基準価額比率)	(0.72%)
当期の収益	51
当期の収益以外	8
翌期繰越分配対象額	842

期間の1万口当たりの分配金(税引前)は、基準価額水準等を勘案し、左記の通りといたしました。

なお、留保益につきましては、運用の基本方針に基づき運用いたします。

※単位未満を切り捨てているため、「当期の収益」と「当期の収益以外」の合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

※「対基準価額比率」は、「当期分配金」(税引前)の期末基準価額(分配金(税引前)込み)に対する比率で、当ファンドの収益率とは異なります。

2 今後の運用方針

当ファンド

引き続き、運用の基本方針に従い、英国国債ギルト10・マザーファンドへの投資を通じて、主として残存期間が10年程度までの英国国債に投資し、各残存期間毎の投資金額がほぼ同額程度となるようなポートフォリオ運営を行う方針です。

英国国債ギルト10・マザーファンド

英国では、インフレへの警戒感が残るものの、急速な金融引き締めによる景気後退や、BOEによる利上げペースの鈍化も意識されていることから、金利の上昇余地は相応に限定されるものと予想します。

当マザーファンドは、残存期間が異なる債券をバランスよく保有することで金利変動リスクを抑制しつつ、償還を迎える債券は残存年数10年程度までの国債に再投資し、各残存期間の投資金額がほぼ同額程度となるようなポートフォリオを維持する方針です。

3 お知らせ

約款変更について

該当事項はございません。

英国国債ファンドーギルト10－（為替ヘッジなし）

1万口当たりの費用明細（2022年9月3日から2023年3月2日まで）

項目	金額	比率	項目の概要
(a) 信託報酬	20円	0.234%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率×（経過日数／年日数） 期中の平均基準価額は8,389円です。
（投信会社）	(9)	(0.109)	投信会社：ファンド運用の指図等の対価
（販売会社）	(9)	(0.109)	販売会社：交付運用報告書等各種資料の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(1)	(0.016)	受託会社：ファンド財産の保管および管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	－	－	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数
（株式）	(－)	(－)	売買委託手数料：有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（先物・オプション）	(－)	(－)	
（投資信託証券）	(－)	(－)	
(c) 有価証券取引税	－	－	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数
（株式）	(－)	(－)	有価証券取引税：有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（公社債）	(－)	(－)	
（投資信託証券）	(－)	(－)	
(d) その他費用	2	0.027	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
（保管費用）	(2)	(0.022)	保管費用：海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送付金・資産の移転等に要する費用
（監査費用）	(0)	(0.005)	監査費用：監査法人に支払うファンドの監査費用
（その他）	(－)	(－)	その他：信託事務の処理等に要するその他費用
合計	22	0.261	

※期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。

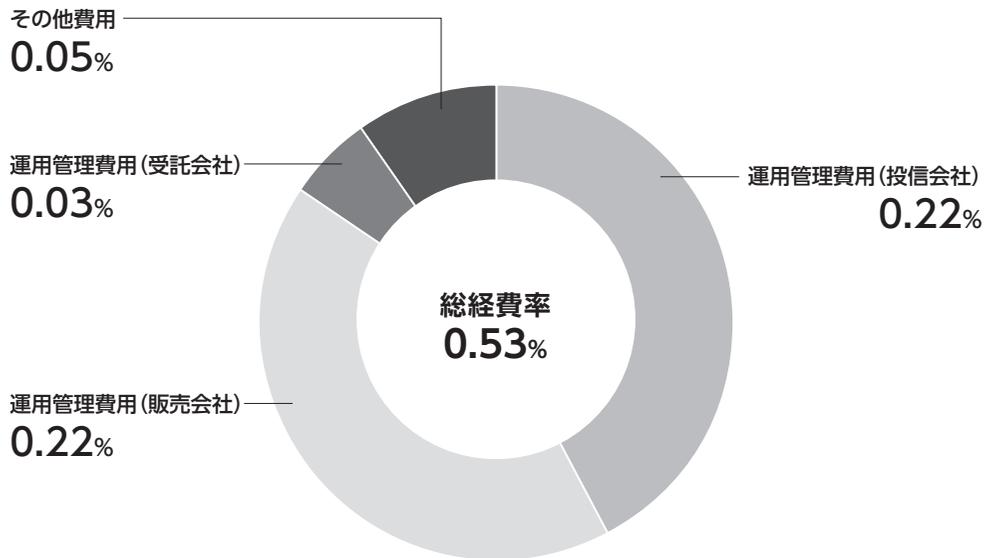
※比率欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

※各項目毎に円未満は四捨五入しています。

※売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。



参考情報 総経費率 (年率換算)



※各費用は、前掲「1万口当たりの費用明細」において用いた簡便法により算出したもので、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

※各比率は、年率換算した値 (小数点以下第2位未満を四捨五入) です。

※上記の前提条件で算出しているため、「1万口当たりの費用明細」の各比率とは、値が異なる場合があります。なお、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

当期中の運用・管理にかかった費用の総額 (原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。) を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額 (1口当たり) を乗じた数で除した総経費率 (年率換算) は0.53%です。

英国国債ファンドーギルト10－（為替ヘッジなし）

■ 当期中の売買及び取引の状況（2022年9月3日から2023年3月2日まで）

親投資信託受益証券の設定、解約状況

	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
英国国債ギルト10・マザーファンド	千口 －	千円 －	千口 817	千円 801

■ 利害関係人との取引状況等（2022年9月3日から2023年3月2日まで）

当期中における利害関係人との取引等はありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■ 第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況 （2022年9月3日から2023年3月2日まで）

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

■ 組入れ資産の明細（2023年3月2日現在）

親投資信託残高

種 類	期 首(前期末)	期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
英国国債ギルト10・マザーファンド	千口 85,531	千口 84,713	千円 82,960

※英国国債ギルト10・マザーファンドの期末の受益権総口数は84,713,921口です。

■ 投資信託財産の構成

（2023年3月2日現在）

項 目	期 末
	評 価 額 比 率
英国国債ギルト10・マザーファンド	千円 82,960 99.0 %
コ ー ル ・ ロ ー ン 等、 そ の 他	852 1.0
投 資 信 託 財 産 総 額	83,812 100.0

※英国国債ギルト10・マザーファンドにおいて、期末における外貨建資産（82,498千円）の投資信託財産総額（83,759千円）に対する比率は98.5%です。

※外貨建資産は、期末の時価を日本の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは、1イギリス・ポンド=163.80円です。

英国国債ファンドーギルト10 - (為替ヘッジなし)

■ 資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2023年3月2日現在)

項 目	期 末
(A) 資 産	83,812,405円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	50,764
英 国 国 債 ギ ル ト 10 ・ マ ザ ー フ ァ ン ド (評 価 額)	82,960,342
未 収 入 金	801,299
(B) 負 債	801,198
未 払 収 益 分 配 金	600,000
未 払 信 託 報 酬	196,706
そ の 他 未 払 費 用	4,492
(C) 純 資 産 総 額 (A - B)	83,011,207
元 本	100,000,000
次 期 繰 越 損 益 金	△ 16,988,793
(D) 受 益 権 総 口 数	100,000,000口
1 万 口 当 ち 基 準 価 額 (C / D)	8,301円

※当期における期首元本額100,000,000円、期中追加設定元本額0円、期中一部解約元本額0円です。

※上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額(元本の欠損)となります。

※上記表中の受益権総口数および1万口当たり基準価額が、投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第7号および第11号に規定する受益権の総数および計算口数当たりの純資産の額となります。

■ 損益の状況

(自2022年9月3日 至2023年3月2日)

項 目	当 期
(A) 有 価 証 券 売 買 損 益	△ 982,793円
売 買 損	△ 982,793
(B) 信 託 報 酬 等	△ 201,198
(C) 当 期 損 益 金 (A + B)	△ 1,183,991
(D) 前 期 繰 越 損 益 金	△ 23,563,732
(E) 追 加 信 託 差 損 益 金	8,358,930
(配 当 等 相 当 額)	(4,958,269)
(売 買 損 益 相 当 額)	(3,400,661)
(F) 合 計 (C + D + E)	△ 16,388,793
(G) 収 益 分 配 金	△ 600,000
次 期 繰 越 損 益 金 (F + G)	△ 16,988,793
追 加 信 託 差 損 益 金	8,358,930
(配 当 等 相 当 額)	(4,958,269)
(売 買 損 益 相 当 額)	(3,400,661)
分 配 準 備 積 立 金	1,766,690
繰 越 損 益 金	△ 27,114,413

※有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

※株式投信の信託報酬等には消費税等相当額が含まれており、公社債投信には内訳の一部に消費税等相当額が含まれています。

※追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

※分配金の計算過程は以下の通りです。

当 期	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	517,330円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	6,657,609
(d) 分配準備積立金	1,849,360
(e) 当期分配対象額(a+b+c+d)	9,024,299
1 万 口 当 ち 期 当 期 分 配 対 象 額	902.43
(f) 分配金	600,000
1 万 口 当 ち 期 分 配 金	60

■ 分配金のお知らせ

1 万口当たり分配金 (税引前)	当 期
	60円

※分配金は、分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は全額「普通分配金」となり課税されます。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合は下回る部分が「元本払戻金 (特別分配金)」となり非課税、残りの部分が「普通分配金」となります。

上記のほか、投資信託財産の計算に関する規則第58条第1項各号に該当する事項はありません。

英国国債ギルト10・マザーファンド

第17期（2022年9月3日から2023年3月2日まで）

信託期間	無期限（設定日：2014年9月4日）
運用方針	<ul style="list-style-type: none"> ■主として、残存期間が最長10年程度までの英国国債に投資し、原則として、各残存期間毎の投資金額がほぼ同額程度となるような運用を目指します。 ■組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。

原則として、各表の数量および金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しています。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

■最近5期の運用実績

決算期	基準価額		(参考指数) 英国5年 国債利回り	公社債 組入比率	純資産 総額
	騰落	中率			
13期（2021年3月2日）	円 9,988	% 2.9	0.3530	% 97.5	百万円 87
14期（2021年9月2日）	10,221	2.3	0.3660	97.6	89
15期（2022年3月2日）	10,137	△0.8	0.7910	98.0	87
16期（2022年9月2日）	9,908	△2.3	2.8200	98.5	84
17期（2023年3月2日）	9,793	△1.2	3.6710	97.8	82

※外国の指数は基準価額への反映を考慮した日付の値を使用しています。

■当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		(参考指数) 英国5年 国債利回り	公社債 組入比率	債 率
	騰落	率			
(期首) 2022年9月2日	円 9,908	% -	2.8200	% 98.5	
9月末	9,283	△6.3	4.4340	97.5	
10月末	10,303	4.0	3.5820	97.6	
11月末	10,123	2.2	3.2240	97.4	
12月末	9,554	△3.6	3.6310	97.2	
2023年1月末	9,819	△0.9	3.2200	97.1	
2月末	9,832	△0.8	3.6910	96.9	
(期末) 2023年3月2日	9,793	△1.2	3.6710	97.8	

※騰落率は期首比です。

1 運用経過

▶ 基準価額等の推移について（2022年9月3日から2023年3月2日まで）

基準価額等の推移



期首	9,908円
期末	9,793円
騰落率	-1.2%

※当ファンドは英国5年国債利回りを参考指数としているため、基準価額等の推移のグラフに併記しておりません。

▶ 基準価額の主な変動要因（2022年9月3日から2023年3月2日まで）

当ファンドは、主として、残存期間が最長10年程度までの英国国債に投資し、原則として、各残存期間毎の投資金額がほぼ同額程度となるような運用を行いました。

上昇要因	<ul style="list-style-type: none"> ・保有する債券からインカム収入を得たこと ・英ポンド円相場が上昇したこと
下落要因	<ul style="list-style-type: none"> ・BOE（イングランド銀行：中央銀行）によるタカ派的な姿勢や利上げサイクルの進展などを背景に金利が上昇したこと

▶ 投資環境について（2022年9月3日から2023年3月2日まで）

運用期間において英国の金利は上昇しました。また、英ポンドは対円で上昇しました。

英国債券市場

英国では、長期金利（10年国債利回り）は上昇しました。BOEによる利上げの進展やトラス政権による財政拡大路線への懸念を背景に金利は2022年9月に大きく上昇しました。その後はサク新政権の発足による財政懸念の後退などから、金利は上昇幅を縮小し、もみ合う展開となりました。しかし、運用期間末にかけてはBOEのタカ派的なスタンスを背景に上昇する展開となりました。

為替市場

英ポンド円相場は上昇しました。運用期間の初め、英ポンドは財政懸念などを背景に下落しましたが、財政懸念が後退したことで上昇に転じました。その後はBOEのタカ派姿勢の後退などから下落基調となりましたが、運用期間末にかけては粘着的なインフレ指標や金利上昇を背景に上昇するなど、英ポンドは上下しつつも上昇する展開となりました。

▶ ポートフォリオについて（2022年9月3日から2023年3月2日まで）

残存期間が最長10年程度までの英国国債に投資するとともに、各残存期間1年毎の投資金額がほぼ同額程度となるように維持しました。

▶ **ベンチマークとの差異について（2022年9月3日から2023年3月2日まで）**

当ファンドは運用の指標となるベンチマークを設けておりません。英国5年国債利回りを参考指数としているため、当ファンドの基準価額の騰落率との対比をしておりません。

2 今後の運用方針

英国では、インフレへの警戒感が残るものの、急速な金融引き締めによる景気後退や、BOEによる利上げペースの鈍化も意識されていることから、金利の上昇余地は相応に限定されるものと予想します。

当ファンドは、残存期間が異なる債券をバランスよく保有することで金利変動リスクを抑制しつつ、償還を迎える債券は残存年数10年程度までの国債に再投資し、各残存期間の投資金額がほぼ同額程度となるようなポートフォリオを維持する方針です。

■ 1万口当たりの費用明細 (2022年9月3日から2023年3月2日まで)

項 目	金 額	比 率	項 目 の 概 要
(a) そ の 他 費 用 (保 管 費 用)	2円 (2)	0.021% (0.021)	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数 保管費用：海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送付金・資産の移転等に要する費用
合 計	2	0.021	

期中の平均基準価額は9,814円です。

※期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。

※比率欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

※各項目毎に円未満は四捨五入しています。

■ 当期中の売買及び取引の状況 (2022年9月3日から2023年3月2日まで)

公社債

			買 付 額	売 付 額
外国	イ ギ リ ス	国 債 証 券	千イギリス・ポンド 53	千イギリス・ポンド — (57)

※金額は受渡し代金。（経過利子分は含まれておりません。）

※（ ）内は償還等による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

■ 利害関係人との取引状況等 (2022年9月3日から2023年3月2日まで)

当期中における利害関係人との取引等はありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■ 第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況
(2022年9月3日から2023年3月2日まで)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

英国国債ギルト 10・マザーファンド

■ 組入れ資産の明細 (2023年3月2日現在)

公社債

A 債券種類別開示

外国（外貨建）公社債

区 分	期				末				
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率			
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満	
イギリス	千イギリス・ポンド 551	千イギリス・ポンド 495	千円 81,168	% 97.8	% —	% 48.0	% 29.7	% 20.1	
合 計	—	—	81,168	97.8	—	48.0	29.7	20.1	

※邦貨換算金額は、期末の時価を日本の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

※組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

B 個別銘柄開示

外国（外貨建）公社債

区 分	銘 柄	種 類	期				末		償還年月日
			利 率	額面金額	評 価 額				
					外貨建金額	邦貨換算金額			
イギリス	UK GILT	国債証券	% 4.2500	千イギリス・ポンド 49	千イギリス・ポンド 51	千円 8,354	2032/06/07		
	UK GILT	国債証券	2.2500	52	51	8,443	2023/09/07		
	UK GILT	国債証券	2.7500	51	50	8,199	2024/09/07		
	UK GILT	国債証券	2.0000	53	50	8,324	2025/09/07		
	UK GILT	国債証券	1.5000	54	50	8,229	2026/07/22		
	UK GILT	国債証券	1.2500	55	49	8,123	2027/07/22		
	UK GILT	国債証券	1.6250	53	47	7,783	2028/10/22		
	UK GILT	国債証券	0.8750	58	48	7,940	2029/10/22		
	UK GILT	国債証券	0.3750	62	48	7,914	2030/10/22		
	UK GILT	国債証券	0.2500	64	47	7,855	2031/07/31		
小 計				551	495	81,168	—		
合 計				—	—	81,168	—		

※邦貨換算金額は、期末の時価を日本の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

■ 投資信託財産の構成

(2023年3月2日現在)

項 目	期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公 社 債	81,168	96.9
コ ー ル ・ ロ ー ン 等、 そ の 他	2,591	3.1
投 資 信 託 財 産 総 額	83,759	100.0

※期末における外貨建資産（82,498千円）の投資信託財産総額（83,759千円）に対する比率は98.5%です。

※外貨建資産は、期末の時価を日本の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは、1イギリス・ポンド=163.80円です。

■ 資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2023年3月2日現在)

項 目	期 末
(A) 資 産	83,759,688円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	2,102,795
公 社 債(評価額)	81,168,561
未 収 利 息	488,332
(B) 負 債	801,299
未 払 解 約 金	801,299
(C) 純 資 産 総 額 (A-B)	82,958,389
元 本	84,713,921
次 期 繰 越 損 益 金	△ 1,755,532
(D) 受 益 権 総 口 数	84,713,921口
1万口当たり基準価額(C/D)	9,793円

※当期における期首元本額85,531,323円、期中追加設定元本額0円、期中一部解約元本額817,402円です。

※上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額（元本の欠損）となります。

※期末における元本の内訳は、英国国債ファンドーギルト10ー（為替ヘッジなし）84,713,921円です。

※上記表中の受益権総口数および1万口当たり基準価額が、投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第7号および第11号に規定する受益権の総数および計算口数当たりの純資産の額となります。

■ お知らせ

<約款変更について>

該当事項はございません。

■ 損益の状況

(自2022年9月3日 至2023年3月2日)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	715,977円
受 取 利 息	716,207
支 払 利 息	△ 230
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△1,684,949
売 買 益	1,017,094
売 買 損	△2,702,043
(C) そ の 他 費 用 等	△ 18,093
(D) 当 期 損 益 金 (A+B+C)	△ 987,065
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	△ 784,570
(F) 解 約 差 損 益 金	16,103
(G) 合 計 (D+E+F)	△1,755,532
次 期 繰 越 損 益 金 (G)	△1,755,532

※有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

※解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。